

経営学部取り組み

真 庭 功 (経営学部経営学科)

本学部の特色ある教育は、「経営イノベーションとビジネスマインドの醸成」を教育研究課題に掲げて実学を重視し、産学連携を図り実施した。また、このプロジェクトは「平成16年度高等教育研究改革推進経費」による助成を受けている。

〔 〕特色ある教育計画書(抜粋)

教育研究課題名：経営イノベーションとビジネスマインドの醸成

責任者：経営学部長 地代 憲弘教授

運営委員：真庭 功教授、朽尾 安伸講師

・教育の特色・独創的な点

問題を発見し解決する能力を備えた創発的思考のできる人を育成する。産業界と連携して経営特殊講義をはじめ、各授業を支援するとともに、理論と実践の橋渡しを行い、相乗効果により学際的な経営学教育の実をあげる。さらに、マルチメディアを活用するとともにケーススタディによりベンチャービジネス教育を試行する。

・教育研究の概要

1. 経営イノベーション講座

(1) 経営特殊講義17(環境と経営) 秋学期・産学連携

(2) 経営特殊講義19(情報戦略) 秋学期・産学連携

(3) パソコン・リサイクルショップの運営(春学期+秋学期)産学連携

(4) キャンパスベンチャーの育成

2. 授業支援型プログラム

(1) マルチメディア論(技術支援, TAを含む), メディア企画塾(特別演習)

(2) 簿記学習(基礎演習)(TAを含む)

(3) マーケティング演習, 経営学演習(特別ゼミ)など

3. 社会人を招いての講演会

経営倫理学, 国際経営地理学, 国際市場戦略論, 経営情報論, 法学分野

・成果等

ビジネスマインドを醸成するとともに、国際社会で活躍できる人を養成する。

[]各学部学科の「特色ある教育」報告

また、表現力や政策立案能力などをケーススタディにより向上させる。

[]実施プログラム概要

1. 経営イノベーション講座

1 - 1 経営特殊講義17(環境と経営) 秋学期・産学連携, 担当: 見市

期 間 12月8日～1月12日 計4回, 水・4時限(15:00～16:30)

場 所 4403教室

テーマ (1)循環型社会における市場の新しい枠組みと企業に求められる環境経営
(2)環境報告書・環境会計からみる企業の環境への取組(その1)
(3)環境報告書・環境会計からみる企業の環境への取組(その2)
(4)レポート課題とそれに関する留意点

講 師 田中 伸一 氏(株)プロット代表取締役社長)

1 - 2 経営特殊講義19(情報戦略) 秋学期・産学連携, 担当: 真庭

携帯電話, デジタル放送, 情報家電, 発想法, ロボット, 地理情報システムなどに見られるデジタル革命の様相を概括し, IT活用によるe-Japan戦略にも言及した。産学連携による講義はケーススタディ方式を取り入れ, 先端的で実践的な内容となった。毎回40数名が熱心に聴講した。質疑応答もあり, 理解を深める機会となった。ミニッツペーパーの活用と携帯電話でのアイデア提出を試み, 5課題のレポートを提出させた。

期 間 10月6日～1月12日 計9回 水・4時限(15:00～16:30)

場 所 5202教室

No.	テーマ	講師	所属	回数
1	携帯電話の衝撃	片山 龍夫 氏	(株)NTTドコモ関西	2回
2	情報家電	佃 五月 氏	シャープ(株)	2回
3	ロボットとの協調	岡田美智男氏	ATR	2回
4	地理情報システムがもたらす社会的インパクト	川添 博史 氏	特定非営利活動法人 GIS総合研究所	1回

1 - 3 パソコン・リサイクルショップの運営(春学期+秋学期) 産学連携, 担当: 見市

見市ゼミ生を中心に, 校外学習としてNPO法人イ・キューブの指導を得て, リサイクルショップを運営した。25日間にわたり, 幼稚園パソコン導入活動等に取り組んだ。

経営学部の取り組み

1-3-1 使用済みパソコンを活用した幼稚園における情報学習の準備

追手門学院幼稚園に協力をいただき、参画メンバーが中心になって、学習ソフトの決定、カリキュラムの検討、デモ授業のシナリオ作成などを実施した。12月には6台のパソコンを再生し、ソフトをインストールし、プリンター1台をつけて幼稚園に納品、設置した。さらに、年長組でデモ授業を1～2回実施した。(17日間)

1-3-2 パソコン廃材を活用したロボット教室および万華鏡教室のアシスタント

イ・キューブの工房などで、パソコン廃材を活用したロボット教室及び万華鏡教室が夏休み期間中に数回開催されたが、その準備や教室での講師のアシスタントとして、子どもたちがロボットや万華鏡を作るのを支援した。(4日間)

1-3-3 尼崎21世紀の森づくり協議会のイベント参画

「尼崎21世紀の森づくり協議会」のイベントに参画し、沿道緑化として、花壇にパンジー等の花植えの作業に従事した。さらに、協議会のサポーター同士の「交流の風揚げ」イベントにも参画した。(11/14)

1 - 4 キャンパスベンチャーの育成

1-4-1 ベンチャービジネス演習1 担当：地代

日 時 7月3日(土) 2時限(11:10～12:40)

場 所 5203教室

テーマ 「我が社の経営」

講 師 柴田 政明 氏 (株)エイワット社長(本学経済学部卒)

概 要 経営特殊講義9の授業と連携して、小野知己(本学非常勤講師)及び大野長八(本学客員教授)の指導により講演会を開催し、自然エネルギー事業を手がけているエイワットの経営を事例研究した。

1-4-2 ベンチャービジネス演習2 担当：地代

日 時 11月20日(土) 2時限(11:10～12:30)

場 所 5203教室

テーマ 「我が社の経営」～100店舗達成～

講 師 一瀬 邦夫 氏 (株)ペッパーフードサービス代表取締役社長

概 要 経営特殊講義10では、「小さな組織で大きな経営」をモットーに新事業を展開している一瀬氏を招いて、ファーストフード店における独立成功の要因の分析と、今後の発展のための戦略について聴講した。小野知己(本学非常勤講師)及び大野長八(本学客員教授)の指導を得た。

1 - 5 CVGO・ビジネスプラン応募と講評 担当：見市

第6回CVGO（キャンパスベンチャーグランプリOSAKA）は、キャンパスベンチャーグランプリOSAKA実行委員会が主催する学生向けのビジネスプランに見市ゼミ生が応募したので、摂津水都信用金庫の協力を得て、講評会を開催した。

日 時 11月26日（金）4時限（15:00～16:30）

場 所 3104教室

テーマ CVGOに応募したビジネスプランについての講評

講 師 針山 治夫 氏 摂津水都信用金庫人事部副部长

CVGO 関西の学生による新事業の提案コンペティション（ビジネスプラン）

日刊工業新聞社大阪支社 事業出版部 CVGO事務局

新産業の創造と人材育成を目的としている。

2. 授業支援型プログラム

2 - 1 マルチメディア論のテクニカルサポート 秋学期 担当：真田

ねらい 動画編集可能なコンピュータ教育環境を活用する授業のサポート

期 間 9月22日～1月19日 計15回 水曜日・1時限（9:30～11:00）

場 所 5402教室

テーマ ホームページを作って、情報を発信することの重要性を知ることと、その技術を身につけること。（Webでの情報発信＋ビデオ編集）

講 師 小松 久美子 氏 元財団法人イメージ情報科学研究所・職員

概 要 前半：Web概要，HTML概要，IBMホームページビルダーの使い方

Web page作品，発表会，作品の提出

後半：ビデオ編集（ビデオ編集概要とPremiere），編集の基本，特殊効果，編集，動画編集，発表会，作品の提出

2 - 2 組織と情報のテクニカルサポート 春学期＋秋学期 担当：真田

受講者が，春学期：約540名，秋学期：約560名となり，2404教室にて授業が円滑に行えるようにサポートした。講義資料を学内のWebに掲載するとともに，教材準備等も行った。担当：梅野典隆（本学非常勤講師），瀬川滋（本学非常勤講師）

2 - 3 メディア企画塾 春学期 担当：真庭

ねらい コンテンツ企画のための基礎知識を学び，映像作品の企画案を制作させる。

期 間 5月18日～6月29日 計7回 火曜日 2時限（11:10～12:30）

場 所 5103教室

経営学部の取り組み

テーマ 映像作品の作り方

講師 田原 敏孝 氏 (株)システム21 マルチメディアプロデューサー

概要 ワークショップ形式による作品の制作

多様なメディアを満たす情報コンテンツ，情報・コンテンツと知的所有権，知的所有権の種類と所有するメリット，著作権を持つ，文字・音・映像・総合コンテンツの企画と制作，作品の発表会（講評）

作品 詩・散文・広告などのコピー等をライティングし，作品の発表を行った。

2 - 4 簿記特別演習（高度職業専門人養成）秋学期 担当：浅野

会計分野のゼミと連携して，ライセンス取得を目指して簿記の特別演習を実施した。日商簿記検定試験3級・2級の合格者を出し，高度職業専門人を育成するために税理士や公認会計士等の資格試験対策にも力を注いでいる。

期間 2月12日（土）～2月13日（日）2日間

場所 5202教室

内容 特別簿記演習（4コース）

初心者速習，日商3級過去問対策，日商2級過去問対策

公認会計士・税理士試験対策コース

講師 江藤 昭 氏 監査法人トーマツ勤務，会計士補（本学卒業生）

岡 友和 氏 波戸公認会計士事務所勤務，会計士補（本学卒業生）

2 - 5 情報活用講座 春学期＋秋学期 担当：真庭

KJ法[®]によるアイディア・サポートの特別演習を実施した。アイディアを出してまとめる作業はグループの意見整理や卒業論文を書くにあたって役立つことがわかった。

また，携帯電話メールを活用したことも有効であった。

春学期 発展演習1 5月12日～7月7日 計6回 水曜日・3時限

秋学期 卒業演習2 10月18日～11月8日 計3回 月曜日・4時限

場所 5103教室（超発想法ソフトウェアの利用）

テーマ 携帯電話で発想

講師 今里 健一郎 氏 ケイ・イマジン代表（元本学非常勤講師）

2 - 6 経営学特別演習 春学期＋秋学期 担当：米倉

米倉ゼミ（基礎演習・発展演習）では，関西ベンチャー学会の国際化研究部会と連携し，産官学からの講師の協力を得て，特別演習を実施し，共同研究を深めた。

春学期 4月17日～9月18日 計5回 第3土曜日 18:00～20:00

[]各学部学科の「特色ある教育」報告

秋学期 10月23日～2月19日 計5回 第3土曜日 18:00～20:00
場 所 大阪産業創造館 6階 会議室（大阪市中央区本町1-4-5）
テーマ 中小企業・ベンチャー企業経営およびその国際化戦略の研究
講 師 田中 讓 氏 同志社大学 大学院 教授
柏木 啓一 氏 中小企業支援アドバイザー，行政書士
石倉 一樹 氏 大阪学院大学 助教授
連 携 関西ベンチャー学会・国際化研究部会

3. 社会人を招いての講演会

3 - 1 経営倫理学 春学期 + 秋学期 担当：西岡

日 時 7月13日（火）2時限（11:00～12:40）

場 所 5606教室

テーマ マスメディアと倫理

講 師 久世 進 氏（放送作家）

日 時 12月7日（火）2時限（11:00～12:40）

場 所 5606教室

テーマ 経営倫理フォーラム

講 師 新井 理恵 氏 櫻設計室主宰，一級建築士

劉 宏成 氏 (株)ジー・エム・シー代表取締役

3 - 2 国際経営地理学2・国際市場戦略論2 秋学期 担当：シュルンツェ

日 時 11月9日（火）3時限（13:20～14:50）

場 所 5604教室

テーマ ユーラシア横断の旅

講 師 西畑 勝明 氏 (株)エイブルロード職員

西畑いずみ 氏

概 要 タンデム自転車でユーラシア大陸横断に成功した両氏から，各国の文化，生活様式，風景といったものを聴きながら，地理学により深い関心を持ち，異文化理解，異文化経営について考え，講師を囲んで話し合った。

日 時 11月25日（木）1時限目（9:30～11:00）

場 所 1402教室

テーマ ライフサイクル・マネジメント

講 師 マーカス・ロッヘル 氏（Mr. Markus Rochel）

テュフ ラインランド ジャパン(株) 西日本地域担当オフィス支社長

経営学部の取り組み

概要 TUV（国際的第三者試験認証機関）の業務内容，ライフサイクル・マネジメントについて聴講した。バイリンガルで英語と日本語を使用した。

3 - 3 商法 2B・卒業演習2 秋学期 担当：徐

日時 12月8日（水） 3時限（13:20～14:50）・5時限（16:40～18:10）

場所 3302教室・3105教室

テーマ 企業経営に関わる各種法律実務の知識

講師 橋本 真爾 氏 弁護士，橋本総合法律事務所

概要 民法，会社法，労働法，消費者法，知的財産権法，独占禁止法などに関し，企業経営に関係する内容をいくつかピックアップして，聴講した。

さらに，ゼミでは講師を囲んで話し合った。

4．国際経営学科編

本学科では関西ベンチャー学会と連携して，東大阪のベンチャー企業の新動向を見聞し，未来産業の実態を理解するために，見学会と講演会を開催するとともに，講師を囲んで懇談した。多くの企業人と学生の参加があり，盛会に終えた。約66名（内学生37名）

開催日 12月13日（月）

第1部 見学会 15:00～17:00

会場 クリエイション・コア東大阪（東大阪市荒本北50-5）

説明 事務局および入居大学からの説明

第2部 講演会 18:30～20:00

会場 大阪産業創造館 6階 会議室E（大阪市中央区本町1-4-5）

挨拶 関西ベンチャー学会副会長 今田 哲 氏

演題 夢とロマンを乗せた宇宙産業

講師 青木 豊彦 氏

(株)アオキ代表取締役社長，東大阪宇宙開発協同組合理事長

謝辞 本学経営学部長 地代 憲弘

第3部 懇親会 20:00～21:30

会場 大阪産業創造館16階 レストラン

謝辞 本学副学長 西岡 健夫

司会 米倉 穰（関西ベンチャー学会常任理事・本学教授）

運営責任者 国際経営学科長 デシルバ教授